

改革対象事業一覧 (令和 8 年度時点)

令和 8 年 10 月

日野市

市では、令和7年8月28日に財政非常事態宣言の解除を発表したことに伴い、日野市財政再建方針（計画）・第6次日野市行財政改革大綱（実施計画）（以下、「財政再建・6次計画」という。）の抜本的な見直しを検討いたしました。

第1章 そこで、令和8年10月に「日野地域未来総合戦略」を策定し、行財政改革を市の活動方針の一つとして示したうえで、行財政改革を日常の業務の中でも常に見直し・改善をしていく業務遂行上のルールとして、「日野市行財政改革推進規則」を制定し庁内の取組を推進していくことといたしました。

行財政改革の取組のうち、以下第2章(1)の選定基準に基づく改善すべき取組を「改革対象事業」として設定し、引き続き日野市行財政改革推進委員会及び日野市行財政改革推進本部による進捗管理を行っていきます。

改革対象事業

第2章

(1)改革対象事業の選定基準

以下の考え方にに基づき、財政再建・6次計画時の改革対象事業の一部を継続して改善すべき取組及び新たに改善すべき取組を選定しました。

- 各部署単独での改善が難しく、課横断・全庁的な対応が必要な取組
- 内部要因の見直し・改善により大きな効果（財源確保に直結しないものを含む）が見込まれる取組
- これまでの改革対象事業のうち、見直し・改善が途上である取組

【事業・業務の見直しに関する役割区分】

■各部署	「日野市行財政改革推進規則」に基づき、全ての事業について、不断の見直しを継続します。
■行革	見直しにあたり全庁的な対応が必要であり、暫定対応により「改革対象事業」として位置付けた取組を対象とします。
■行政評価	行革の改革対象事業以外の既存事業の見直しを対象とします。毎年度テーマを設け、当該テーマに沿った事業の見直しを行います。
■企画経営課	全庁的な業務改善が必要な事業・業務に関し、各部署を支援します。

改善事案の区分	既存事業	新規事業
各部署（複数部署）で改善可能	行政評価	
全庁的な対応が必要		改革対象事業

(2)対象期間

「日野地域未来総合戦略」の計画期間に合わせ、対象期間を令和 8 年度(2026 年度)～令和 12 年度(2030 年度)までとします。なお、各改革対象事業において、計画期間終了以前に取組の完了が予定されているもの、計画期間後も継続して取組を進めるものはこの限りではありません。

(3)改革対象事業一覧

個票 番号	取組項目	主管課
1	公園管理等事業の運営のあり方の見直し	緑と清流課
2	道路補修・側溝清掃作業業務運営のあり方の見直し	道路課
3	学童クラブ運営のあり方の見直し	子育て課
4	財政援助団体等への援助の在り方の見直し	関係各課
5	「市施行 4 地区土地区画整理事業の今後の進め方方針」に基づく着実な事業実施	区画整理課
6	経営健全化と地域医療構想を踏まえた役割の明確化	市立病院経営企画室
7	公設プールのあり方の見直し	文化スポーツ課
8	(仮称)市有地管理の適正化	財産管理課
9	会計年度任用職員の見直し・適正配置	職員課
10	行政計画の見直し	企画経営課

(4)個表

個表の見方

改革対象事業について、次のような「個票」を作成し、目標設定と進捗管理を行っています。個票の見方について、次の見本を元にご説明いたします。

【個票 見本】

個票番号						
取組項目			主担当課	〇〇〇〇課		
			関係課	〇〇〇〇課・〇〇〇〇課・〇〇〇〇課		
取組概要						
現状と課題	(現状)		(課題)			
目標			期待される効果			
指標別評価	目標に対する評価指標	R8	R9	R10	R11	R12
方針形成	・課題と見直しの方向性が整理されているか					
合意形成	・関係課・関係者・市民等と調整ができていますか					
実施体制	・検討・実施に必要な体制が整理されているか					
制度改善	・見直し内容が方針や運用に反映されているか					
(凡例)	◎:完了／○:概ね完了／△:着手中／×:未着手・実施不可					
年度別計画・実施内容						
実施項目 (目標達成に向け何を・何時から何時までに実施するのか) (中・長期的取組)	実施内容	R8	R9	R10	R11	R12
	(例)中期的取組(複数年度で達成可能)					
	(例)長期的取組(10年単位で達成可能)					
R8年度末時点						
実施項目 取組状況 (中・長期的取組)	判定理由 (取組状況の詳細)					

対象年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
各年度における取組内容					
各年度における実施内容・結果					

○記載項目の説明

個票番号	= 各個票を管理する番号					
取組項目	①		主担当課	主に事業の実施を所管する部署		
			関係課	主担当課に協力して取り組む部署		
取組概要	②					
現状と課題	(現状)		(課題)			
	③		④			
目標	⑤		期待される効果	⑥		
指標別評価	目標に対する評価指標	R8	R9	R10	R11	R12
方針形成	・課題と見直しの方向性が整理されているか					
合意形成	・関係課・関係者・市民等と調整ができていますか		⑦			
実施体制	・検討・実施に必要な体制が整理されているか					
制度改善	・見直し内容が方針や運用に反映されているか					
(凡例)	◎:完了/○:概ね完了/△:着手中/×:未着手・実施不可					

【番号欄の説明】

項番	項目名	内容
①	取組項目	行財政改革として進めていく取組・事業の名称。
②	取組概要	①で掲げた「取組項目」の概要について記述しております。 ・ここでは、日野市の行財政改革の中でどのような取組を行うのか、という視点に立った内容となっております。
③	現状	①で掲げた「取組項目」における、現時点での取組状況や実績について記述しております。
④	課題	上記の現状を踏まえ、どのような課題や影響があるか、という説明です。
⑤	目標	取組項目について、現状と課題を分析した上で、どのような方針・指標をもって改革に取り組むのか、また、計画期間終了(令和 12 年度末)を迎えたときのあるべき姿を設定します。
⑥	期待される効果	行財政改革として、本事業に取り組んだ結果として、市にもたらすメリットを述べる欄です。
⑦	指標別評価 (定性評価)	目標に対して、4つの定性的※な指標の視点から各年度末時点で、どのような状況にあるのかを分析し、進捗状況を主管課で自己評価するものです。 評価指標については、当該事業における課題の改善や見直しや目標の達成に向けたプロセスを重視し、定性的な評価を行うことを目的としています。 最終年度である令和 12 年度末において、すべての指標が「◎：完了」の評価となることを想定し、進捗管理を行ってまいります。 (※定性的:数値化することが難しい要素(性質、状態、感情、プロセス等)に着目しとらえること)

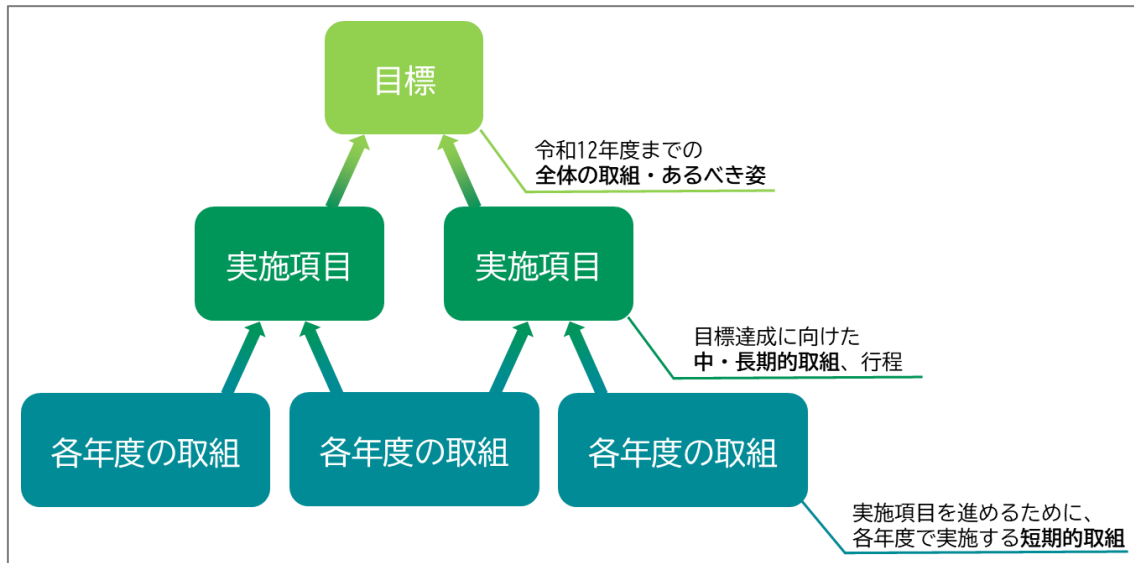
年度別計画・実施内容							
実施項目 (目標達成に向け何を・何時から何時までに実施するのか) (中・長期的取組)	実施内容		R8	R9	R10	R11	R12
	(例)中期的取組(複数年度で達成可能)						
			⑧				
	(例)長期的取組(10年単位で達成可能)						
R8年度末時点							
実施項目 取組状況 (中・長期的取組)	⑨	判定理由 (取組状況の詳細)	⑩				

対象年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
各年度における 取組内容			⑪		
各年度における 実施内容・結果			⑫		

【番号欄の説明】

項番	項目名	内容										
⑧	実施項目	・先に設定した目標の達成するために必要となる取組・プロセスを 1 つずつ洗い出し、取組完了までに数年以上の時間を要する中・長期的なものについて記載しています。 ・各取組について、令和 8 年度から令和 12 年度までの間で「いつ」「なに」を実施していくのか、進捗を管理するための行程表を作成します。										
⑨	実施項目の取組状況 (各年度末時点)	⑧の実施項目について、各年度末時点で進捗状況を各主管課で自己評価します。 【評価指標】 <table><tr><th>評価</th><th>⑧で設定した実施項目の進捗</th></tr><tr><td>○</td><td>計画通り進行中</td></tr><tr><td>△</td><td>計画より遅れている</td></tr><tr><td>×</td><td>未着手／実施不可</td></tr><tr><td>◎</td><td>取組完了</td></tr></table>	評価	⑧で設定した実施項目の進捗	○	計画通り進行中	△	計画より遅れている	×	未着手／実施不可	◎	取組完了
評価	⑧で設定した実施項目の進捗											
○	計画通り進行中											
△	計画より遅れている											
×	未着手／実施不可											
◎	取組完了											
⑩	判定理由	⑨の評価理由について、評価時点での現状を分析し、説明します。										
⑪	各年度における取組内容	先に設定した目標や中・長期的な取組の達成に向け各年度において実施する内容を(短期的な取組)記載します。										
⑫	各年度における実施内容・結果	各年度において実施した内容や取組結果を記載します。										

【「目標」・「実施項目」・「各年度の取組」の関係性】



個票番号		1				
取組項目	公園管理等事業の運営のあり方の見直し			主担当課	緑と清流課	
				関係課		
取組概要	将来的な担い手不足を見据え、公園の管理方法や担い手について見直しをおこなう					
現状と課題	(現状) 清掃や草取りなど簡易な作業は自治会・緑化協会・シルバー人材センターがおこなっている。剪定や刈込、伐採は職員および委託業者が実施している。			(課題) 現業職員の定年退職により、10年後には職員数が0となる。倒木等の緊急対応や市民要望への対応など、現業職員がいることを前提とした業務の組み立てを抜本的に変える必要がある。		
目標	・公園管理について、指定管理者制度の導入等により、緊急対応も含めた包括的な管理が業者により行われている。 ・現業職員の依存度が高い行事等について精査をおこない、廃止・縮小・方針転換のいずれかの見直しがされている。			期待される効果	将来的に現業職員がいない状態となっても、現在と同等の管理が可能となり、持続可能な状態となる。	
指標別評価	目標に対する評価指標	R8	R9	R10	R11	R12
方針形成	・課題と見直しの方向性が整理されているか					
合意形成	・関係課・関係者・市民等と調整ができているか					
実施体制	・検討・実施に必要な体制が整理されているか					
制度改善	・見直し内容が方針や運用に反映されているか					
(凡例)	◎:完了／○:概ね完了／△:着手中／×:未着手・実施不可					
年度別計画・実施内容						
実施項目 (目標達成に向け何を・何時から何時までに実施するのか) (中・長期的取組)	実施内容	R8	R9	R10	R11	R12
	緑の基本計画における方針の決定					
	方針に基づく業者ヒアリングの実施など、事業実施に向けた検討					
	包括的管理委託の開始					
	職員の依存度の高い事業の段階的な縮小・廃止等の検討					
R8年度末時点		判定理由 (取組状況の詳細)				
実施項目 取組状況 (中・長期的取組)						
対象年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	
各年度における取組内容	・緑の基本計画における検討の開始 ・既存事業の縮小・廃止の検討	・緑の基本計画の策定 ・既存事業の縮小・廃止の検討	・緑の基本計画に基づく事業の実施検討(業者ヒアリングの実施) ・既存事業の縮小・廃止の検討	・緑の基本計画に基づく事業の実施検討(業者ヒアリングの実施) ・既存事業の縮小・廃止の検討	・包括管理委託の開始 ・既存事業の縮小・廃止の検討	
各年度における実施内容・結果						

個票番号	2
------	---

取組項目	道路補修・側溝清掃作業業務運営のあり方の見直し	主担当課	道路課
		関係課	緑と清流課

取組概要	技能労務職による道路補修・側溝清掃作業業務について、運営のあり方を見直し、今後の委託化等を含めた体制を構築する。					
現状と課題	(現状) ①令和5(2023)年2月22日付けで市と市職員組合で締結した確認書により、技能労務職の削減・不補充、段階的な民間委託化を図ることで合意している。 ②市作業員の人数は年々減少し、現在の平均年齢は55歳を優に超えている。人員減と高齢化に伴い、作業のキャパシティは低下している。 ③修繕、除草委託の予算は年々増加している。		(課題) ①作業業務の委託化を推進し、全ての直営作業を廃止すると、日々の突発的、災害時などの応急対応の機動力が低下する可能性がある。 ②委託化に伴い、事務執行の体制を整える必要がある。 ③民間の作業労務者の人手不足や受託事業者の確保。			
目標	正規職員及び会計年度任用職員が実施している主な道路維持管理に関する作業業務について、定年退職等による職員数減少に伴い、令和12年度末までをめぐり段階的に民間委託に移行する。委託化が非効率・非効果的または困難な業務を抽出し、新たな直営業務の体制を構築する。		期待される効果	民間の活力及び創意工夫を活用した良好な道路維持の向上		
指標別評価	目標に対する評価指標	R8	R9	R10	R11	R12
方針形成	・課題と見直しの方向性が整理されているか					
合意形成	・関係課・関係者・市民等と調整ができていますか					
実施体制	・検討・実施に必要な体制が整理されているか					
制度改善	・見直し内容が方針や運用に反映されているか					
(凡例)	◎:完了／○:概ね完了／△:着手中／×:未着手・実施不可					

年度別計画・実施内容

実施項目 (目標達成に向け何を・何時から何時までに実施するのか) (中・長期的取組)	実施内容	R8	R9	R10	R11	R12
	次年度の業務委託化内容等の検討					
	最終的な業務委託化内容等の検討					
	事務執行体制の検討、構築					
	方法の調査・研究、事業者へのヒアリング					
	業務の民間委託化実施(一部)					
	委託すべき業務の民間委託化実施(完了) ※見込み					
R8年度末時点						
実施項目 取組状況 (中・長期的取組)	判定理由 (取組状況の詳細)					

対象年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
各年度における取組内容	・業務の民間委託化の一部実施 ・令和9年度及び最終的な業務委託化内容等の検討 ・事務執行体制の検討	・業務の民間委託化の一部実施 ・令和10年度及び最終的な業務委託化内容等の検討 ・事務執行体制の検討 ・具体的な方法等の調査・研究、事業者へのヒアリング、意見交換	・業務の民間委託化の一部実施 ・令和11年度及び最終的な業務委託化内容等の検討 ・事務執行体制の確立 ・具体的な方法等の調査・研究、事業者へのヒアリング、意見交換	・業務の民間委託化の一部実施 ・令和12年度及び最終的な業務委託化内容等の検討 ・具体的な方法等の調査・研究、事業者へのヒアリング、意見交換	・最終的な業務委託化内容等の検討 ・委託すべき業務の委託化完了 ・具体的な方法等の調査・研究、事業者へのヒアリング、意見交換
各年度における実施内容・結果					

個票番号 3						
取組項目	学童クラブ運営のあり方の見直し		主担当課 子育て課			
			関係課 庶務課、学務課、建築営繕課			
取組概要	保護者が就労等により昼間児童を監護できない場合に、適切な遊びと生活の場を提供し、児童の健全な育成を図る。					
現状と課題	(現状) 市内全17小学校に対し29施設の学童クラブを設置し、児童の受入れを実施。R8.4.1時点で、公営11施設、民営18施設による運営を実施。		(課題) ・支援員(施設職員)の確保と柔軟な職員配置。 ・都の実施する新たな制度(認証学童クラブ制度)への対応。			
目標	令和10年度に、全29学童クラブへの民間活力の導入を完了する。		期待される効果	・学童クラブ事業の安定的、持続的な実施 ・柔軟な職員配置 ・労務管理事務の削減		
指標別評価	目標に対する評価指標	R8	R9	R10	R11	R12
方針形成	・課題と見直しの方向性が整理されているか					
合意形成	・関係課・関係者・市民等と調整ができているか					
実施体制	・検討・実施に必要な体制が整理されているか					
制度改善	・見直し内容が方針や運用に反映されているか					
(凡例)	◎:完了／○:概ね完了／△:着手中／×:未着手・実施不可					
年度別計画・実施内容						
実施項目 (目標達成に向け何を・何時から何時までに実施するのか) (中・長期的取組)	実施内容	R8	R9	R10	R11	R12
	職員組合との交渉(妥結済み)					
	[R9委託]事業者選定	→				
	[R9委託]決定業者への引継ぎ・運営開始	→				
	[R10委託]事業者選定		→			
	[R10委託]決定業者への引継ぎ・運営開始		→			
	既存職員へのフォロー(職場紹介等)	→	→			
R8年度末時点						
実施項目 取組状況 (中・長期的取組)	判定理由 (取組状況の詳細)					
対象年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	
各年度における取組内容	令和9年度に向けた民営化準備(4施設)	令和10年度に向けた民営化準備(7施設)	民営化完了			
各年度における実施内容・結果						

個票番号	4					
取組項目	財政援助団体等への援助の在り方の見直し			主担当課	企画経営課、緑と清流課、産業振興課、文化スポーツ課、福祉政策課	
				関係課	—	
取組概要	公益的性質を持つことから市では特定の法人へ財政援助を行い、当該法人の運営の維持、活動促進に向けた支援を行っている。団体へ交付している補助金額の適正水準の確保のため、補助金交付要綱の見直しや改善、今後の市と団体のあるべき姿を整理する。 【対象団体】(公財)社会教育協会日野社会教育センター、(公財)日野市環境緑化協会、(一社)日野市勤労者福祉サービスセンター、(NPO)日野市観光協会、(特別認可法人)日野市商工会、(一社)日野市体育協会、(社福)日野市社会福祉協議会					
現状と課題	(現状) 令和6年度・令和7年度に実施した「財政援助団体補助金適正管理支援業務委託」等を通じて把握した現状と課題を踏まえ、団体の役割・事業内容に見合った補助額の検証等に着手している。			(課題) ・各団体それぞれの課題は異なるが、主な内容は以下の通り ・財政余力の未検証など、補助金交付額の算定根拠が不明瞭である ・会員数の減等に伴う自主財源比率の低下、補助金依存の運営体制となっている ・補助の必要性、費用対効果の点検が不十分である		
目標	財政援助団体の「あるべき運営の姿」を当該団体とともに検討し、団体が持続的かつ主体的に運営できるよう、補助額の算定の考え方や援助の在り方を精査する。			期待される効果	・補助金交付要綱の見直しにより、補助金額の適正化が図られる ・団体との協議を通じて、市と団体が共通認識を持つことができる	
指標別評価	目標に対する評価指標	R8	R9	R10	R11	R12
方針形成	・課題と見直しの方向性が整理されているか					
合意形成	・関係課・関係者・市民等と調整ができているか					
実施体制	・検討・実施に必要な体制が整理されているか					
制度改善	・見直し内容が方針や運用に反映されているか					
(凡例)	◎:完了／○:概ね完了／△:着手中／×:未着手・実施不可					
年度別計画・実施内容						
実施項目 (目標達成に向け何を・何時から何時までに実施するのか) (中・長期的取組)	実施内容	R8	R9	R10	R11	R12
	各団体との協議・検討(役割分担、補助内容の精査等)					
	補助金交付要綱の見直し					
	※取組の進捗は各団体により異なる					
R8年度末時点						
実施項目 取組状況 (中・長期的取組)	判定理由 (取組状況の詳細)					
対象年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	
各年度における取組内容	各団体との協議・検討、補助金交付要綱の見直しをはじめとした団体援助の在り方の整理	各団体との協議・検討、補助金交付要綱の見直しをはじめとした団体援助の在り方の整理	各団体との協議・検討、補助金交付要綱の見直しをはじめとした団体援助の在り方の整理	各団体との協議・検討、補助金交付要綱の見直しをはじめとした団体援助の在り方の整理	各団体との協議・検討、補助金交付要綱の見直しをはじめとした団体援助の在り方の整理	
各年度における実施内容・結果						

個票番号	5					
取組項目	「市施行4地区土地区画整理事業の今後の進め方方針」に基づく着実な事業実施			主担当課	区画整理課	
				関係課		
取組概要	市施行4地区における土地区画整理事業の総点検による資金計画・整備工程の再算定及び進め方方針を策定した。進め方方針に基づき、区画整理事業を完了させ、市民生活に必要な都市基盤整備を完遂する。					
現状と課題	(現状) 今後の事業完了の道筋を明確にすることを目指し、市施行4地区における土地区画整理事業の事業計画総点検を行い、事業費・資金計画の再整理と進め方の決定を実施した。 事業完了までの整備工程を再整理したことで、現行の区画整理区域において、完了までの資金計画が成り立つことが確認でき、今後の事業完了に向けた道筋が明確になった。			(課題) 事業費・資金計画の再整理及び整備工程の再整理により、事業完了までの道筋が明確となったが、継続的に必要となる事業費と人員体制等の執行体制を確保しながら事業を進めていく必要がある。		
目標	・長期化している区画整理事業を完了させ、市民生活に必要な都市基盤整備を完遂する。 ・事業計画の総点検によって再整理した事業工程と総事業費をもとに、事業を完了に導くため、着実に事業を執行する。年度事業の執行に必要な国都費・保留地処分金・一般会計繰入金などを確保する。 ・短期工程だけでなく、中長期的な事業工程を説明会を通じて権利者にお知らせし、理解を得ながら事業を進める。 ・効率的な事業実施のため、複数年度契約を活用し、工事発注時期の平準化など入札不調対策をおこなう。			期待される効果	土地区画整理事業は、施行地区内における道路、公園、下水道等の生活基盤の整備による生活環境の向上とともに、交通ネットワークの強化、防災性の向上、公衆衛生の向上により市民全体の生活環境の向上に寄与する広域的な効果がある。	
指標別評価	目標に対する評価指標	R8	R9	R10	R11	R12
方針形成	・課題と見直しの方向性が整理されているか					
合意形成	・関係課・関係者・市民等と調整ができているか					
実施体制	・検討・実施に必要な体制が整理されているか					
制度改善	・見直し内容が方針や運用に反映されているか					
(凡例)	◎:完了／○:概ね完了／△:着手中／×:未着手・実施不可					

年度別計画・実施内容						
実施項目 (目標達成に向け何を・何時から何時までに実施するのか) (中・長期的取組)	実施内容	R8	R9	R10	R11	R12
	中長期工程説明会を実施	→				
	中長期工程に沿って、事業を着実に実施	→	→	→	→	→
	執行体制確保について関係部署と協議	→	→	→	→	→
	補助金の内示率向上に向けた取り組み	→	→	→	→	→
	資金計画・事業工程の見直し					→
						※R14にかけて
R8年度末時点	判定理由 (取組状況の詳細)					
実施項目 取組状況 (中・長期的取組)						

対象年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
各年度における取組内容	・権利者向けに総点検の結果を踏まえた中長期工程説明会・個別説明会を実施(権利者の合意形成) ・中長期工程に沿って着実に事業を実施(事業進捗に影響がある課題の解決等) ・事業費・人員体制等の執行体制確保について関係部署と協議 ・補助金の内示率向上に向けた国・都への要望活動を実施	・中長期工程に沿って着実に事業を実施(事業進捗に影響がある課題の解決等) ・事業費・人員体制等の執行体制確保について関係部署と協議 ・補助金の内示率向上に向けた国・都への要望活動を実施	・中長期工程に沿って着実に事業を実施(事業進捗に影響がある課題の解決等) ・事業費・人員体制等の執行体制確保について関係部署と協議 ・補助金の内示率向上に向けた国・都への要望活動を実施	・中長期工程に沿って着実に事業を実施(事業進捗に影響がある課題の解決等) ・事業費・人員体制等の執行体制確保について関係部署と協議 ・補助金の内示率向上に向けた国・都への要望活動を実施	・中長期工程に沿って着実に事業を実施(事業進捗に影響がある課題の解決等) ・事業費・人員体制等の執行体制確保について関係部署と協議 ・補助金の内示率向上に向けた国・都への要望活動を実施 ・R14にかけて、資金計画・事業工程の見直し
各年度における実施内容・結果					

取組項目	経営健全化と地域医療構想を踏まえた役割の明確化	主担当課		市立病院経営企画室		
		関係課		企画経営課		
取組概要	物価高騰や高齢化、地域医療構想等、医療を取り巻く様々な環境を踏まえ、市立病院が地域で担うべき役割、在るべき姿について検討し、持続可能な地域医療提供体制の確保のため、市と一丸となり経営健全化を図る。					
現状と課題	（現状） 市立病院は地域医療の中核的役割を担ってきたが、急激な物価高騰による維持コストの増加や地域医療ニーズの変容、赤字の蓄積により、経営健全化の早期着手が必要な状態。		（課題） ・物価や人件費等の増加による、病院機能維持コストの増加 ・公定価格である診療報酬制度の中での経営改善の限界 ・少子高齢化による医療人材の不足と高齢者疾患のニーズが加速			
目標	在り方検討委員会の提言を踏まえ市が作成する「再建方針」と、病院が策定する「再建計画」に基づき、地域医療構想や地域医療ニーズを踏まえた役割を明確にし、自立的な事業運営による持続可能な病院経営を目指す		期待される効果	市立病院の経営健全化を通じ、持続可能な地域医療提供体制に確保し、安心・安全な市民生活に寄与する。		
指標別評価	目標に対する評価指標	R8	R9	R10	R11	R12
方針形成	・課題と見直しの方向性が整理されているか					
合意形成	・関係課・関係者・市民等と調整ができていますか					
実施体制	・検討・実施に必要な体制が整理されているか					
制度改善	・見直し内容が方針や運用に反映されているか					
（凡例）	◎:完了／○:概ね完了／△:着手中／×:未着手・実施不可					

年度別計画・実施内容							
実施項目 (目標達成に向け何を・何時から何時までに実施するのか) (中・長期的取組)	実施内容		R8	R9	R10	R11	R12
	短期的改善策の実施						
	日野市立病院在り方検討委員会による検討						
	再建方針に基づく再建計画の策定と、抜本的な経営健全化の取組の実施						
	「日野市立病院経営強化プラン」の改定・長期改善策の合意形成						
	「日野市立病院経営強化プラン」新指標に基づく長期改善策の実施						
	地域医療構想や国ガイドライン等、各種情報収集。それに伴う次期プラン策定に向けた検討						
	R8年度末時点						
実施項目 取組状況 (中・長期的取組)		判定理由 (取組状況の詳細)					

対象年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
各年度における 取組内容	①短期的改善策の実施 ・各種集患活動 ・手当制度見直し 等 ②日野市立病院在り方検討委員会での検討 ③再建方針に基づく再建計画策定に関する検討 ④地域医療構想調整会議における次期地域医療構想の協議	①短期的改善策の実施 ・前年度の取り組みを継続 ・再建方針に基づく再建計画の策定と計画に基づく取組の実施 ③「日野市立病院経営強化プラン」の改定を実施 ④地域医療構想調整会議における次期地域医療構想の協議	①再建計画に基づく取組の実施 ②改定後「日野市立病院経営強化プラン」新指標に基づく長期改善策の実施 ③地域医療構想調整会議における次期地域医療構想の協議	①再建計画に基づく取組の実施 ②「日野市立病院経営強化プラン」新指標に基づく長期改善策の実施 ③新たな地域医療構想やそれを踏まえた第9次医療計画を基に、自院次期プラン改定作業を検討。	①再建計画に基づく取組の実施 ②「日野市立病院経営強化プラン」新指標に基づく長期改善策の実施 ③新たな地域医療構想やそれを踏まえた第9次医療計画を基に、自院次期プラン改定作業を検討。
各年度における 実施内容・結果					

個票番号	7					
取組項目	公設プールの在り方の見直し			主担当課	文化スポーツ課	
				関係課	地域協働課、庶務課	
取組概要	市民プールは、平成5年にリニューアルしてから30年以上が経過している。老朽化が進展する市民プールを中心として各種調査等を行い、市営2プール(市民プール・東部会館プール)の在り方を検討する。また、検討結果に基づく施設修繕・建替・集約・廃止等の対応を進める。					
現状と課題	(現状) ・市民プールは、令和7年度に設備の不具合を理由に50メートルプールの使用を中止。令和8年度は施設全体の劣化度調査を実施することを理由に営業を休止。 ・東部会館プールは平成元年の開設、市民プールは平成5年の移転開設から大規模改修を実施しておらず、施設全体の老朽化が進行。			(課題) ・プール施設の所管部門が複数あり、各所管部門における状況等を考慮・調整して取り組みを推進する必要がある ・実施体制の不足(マンパワー、全庁的な調整役など)		
目標	・市営2プールの在り方の決定 ・在り方検討結果に基づく施設修繕・建替・集約・廃止等対応の実施			期待される効果	・公共施設整備・維持管理・運営に係る費用の縮減 ・施設総量の縮減	
指標別評価	目標に対する評価指標	R8	R9	R10	R11	R12
方針形成	・課題と見直しの方向性が整理されているか					
合意形成	・関係課・関係者・市民等と調整ができているか					
実施体制	・検討・実施に必要な体制が整理されているか					
制度改善	・見直し内容が方針や運用に反映されているか					
(凡例)	◎:完了／○:概ね完了／△:着手中／×:未着手・実施不可					
年度別計画・実施内容						
実施項目 (目標達成に向け何を・何時から何時までに実施するのか) (中・長期的取組)	実施内容	R8	R9	R10	R11	R12
	市民プール劣化度調査の実施	→				
	市営2プールの在り方検討の実施	→				
	R8在り方検討結果に基づく施設対応の検討		→	→	→	→
	R8在り方検討結果に基づく施設対応の実施			→	→	→
R8年度末時点						
実施項目 取組状況 (中・長期的取組)		判定理由 (取組状況の詳細)				

対象年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
各年度における取組内容	・市民プール劣化度調査の実施 ・市営2プールの在り方検討の実施	・R8在り方検討結果に基づく施設対応(修繕・建替・集約・廃止等)の検討	・R8在り方検討結果に基づく施設対応(修繕・建替・集約・廃止等)の検討・実施	・R8在り方検討結果に基づく施設対応(修繕・建替・集約・廃止等)の検討・実施	・R8在り方検討結果に基づく施設対応(修繕・建替・集約・廃止等)の検討・実施
各年度における実施内容・結果					

個票番号	8					
取組項目	土地開発公社の経営健全化			主担当課	財産管理課	
				関係課	企画経営課	
取組概要	第6次経営健全化計画に基づく計画的な買戻しの実施、民間売却とされた土地の売却、差額補填策の実行による財務状況の改善					
現状と課題	(現状) 保有している公社用地の大部分が、不動産価格高騰期の取得、かつ長期保有になっている。取得費は全て金融機関からの借入金であり、一年毎に借換を実施している。			(課題) 第6次日野市土地開発公社経営健全化計画の通りに市による買戻しが行われず、借入金の返済が進んでいない。借入金利の上昇に伴い支払利息額が増えており、それに連動して利子補助金の要求額も増加している。この利子補助金は全額市から交付されるため、市財政への影響がある。		
目標	公社用地(簿価)を減らし、借換金額と支払利息の減少を図る。			期待される効果	市が要求される利子補助金額の削減。	
指標別評価	目標に対する評価指標	R8	R9	R10	R11	R12
方針形成	・課題と見直しの方向性が整理されているか					
合意形成	・関係課・関係者・市民等と調整ができているか					
実施体制	・検討・実施に必要な体制が整理されているか					
制度改善	・見直し内容が方針や運用に反映されているか					
(凡例)	◎:完了／○:概ね完了／△:着手中／×:未着手・実施不可					
年度別計画・実施内容						
実施項目 (目標達成に向け何を・何時から何時までに実施するのか) (中・長期的取組)	実施内容	R8	R9	R10	R11	R12
	公社保有の土地の利活用の方針について庁内認識合わせ					
	借替時の借入利息の競争入札を継続実施					
	公社用地の短期貸付					
	公社用地の民売の検討					
R8年度末時点						
実施項目 取組状況 (中・長期的取組)	判定理由 (取組状況の詳細)					

対象年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
各年度における取組内容	・公社保有の土地の利活用の方針について庁内認識合わせ ・借換時の借入利息の競争入札を継続実施 ・公社用地の短期貸付 ・市に対して、公社用地(民売予定地)の方針の確認	・公社保有の土地の利活用の方針について庁内認識合わせ ・借換時の借入利息の競争入札を継続実施 ・公社用地の短期貸付 ・市に対して、公社用地(民売予定地)の方針の確認	・公社保有の土地の利活用の方針について庁内認識合わせ ・借換時の借入利息の競争入札を継続実施 ・公社用地の短期貸付 ・市に対して、公社用地(民売予定地)の方針の確認	・公社保有の土地の利活用の方針について庁内認識合わせ ・借換時の借入利息の競争入札を継続実施 ・公社用地の短期貸付 ・市に対して、公社用地(民売予定地)の方針の確認	・公社保有の土地の利活用の方針について庁内認識合わせ ・借換時の借入利息の競争入札を継続実施 ・公社用地の短期貸付 ・市に対して、公社用地(民売予定地)の方針の確認
各年度における実施内容・結果					

個票番号		9				
取組項目	会計年度任用職員の見直し・適正配置			主担当課	職員課	
				関係課	—	
取組概要	公務の運営においては、任期の定めのない常勤職員を中心とするという原則を前提に、正規職員を含めた職員全体の適正配置を進めることにより、非常勤職員である会計年度任用職員の配置の見直しを実施する。					
現状と課題	(現状) 4月1日現在職員数(病院を除く) R8 正規職員1058人 会計年度任用職員1030人(フル184、パート846) R7 正規職員1052人 会計年度任用職員1018人(フル179、パート839) R6 正規職員1058人 会計年度任用職員1020人(フル192、パート828)			(課題) ・多くの非常勤職員を抱え、人件費比率が高い ・正規職員の欠員増加に伴い非常勤職員の任用が増加		
目標	民間委託等に伴う運営体制の見直し、DX推進等による業務の効率化、正規職員の適正配置と役割分担の整理を通じて、業務量に応じた非常勤職員の配置の適正化を図る。			期待される効果	・人件費の削減 ・適正配置による業務効率化	
指標別評価	目標に対する評価指標	R8	R9	R10	R11	R12
方針形成	・課題と見直しの方向性が整理されているか					
合意形成	・関係課・関係者・市民等と調整ができているか					
実施体制	・検討・実施に必要な体制が整理されているか					
制度改善	・見直し内容が方針や運用に反映されているか					
(凡例)	◎:完了 / ○:概ね完了 / △:着手中 / ×:未着手・実施不可					
年度別計画・実施内容						
実施項目 (目標達成に向け何を・何時から何時までに実施するのか) (中・長期的取組)	実施内容	R8	R9	R10	R11	R12
	各課の状況把握(毎年度)					
	正職の適正配置の検討(毎年度)					
	会計年度任用職員人件費査定(財政課・職員課)					
R8年度末時点						
実施項目 取組状況 (中・長期的取組)	判定理由 (取組状況の詳細)					
対象年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	
各年度における取組内容	・各課の現状把握(ヒアリング) ・正職の適正配置	・各課の現状把握(ヒアリング) ・正職の適正配置	・各課の現状把握(ヒアリング) ・正職の適正配置	・各課の現状把握(ヒアリング) ・正職の適正配置	・各課の現状把握(ヒアリング) ・正職の適正配置	
各年度における実施内容・結果						

個票番号	10					
取組項目	行政計画の見直し			主担当課	企画経営課	
				関係課	-	
取組概要	本市では、計画的に行政運営を進めるため、施策の方向性や具体的な取組を定めた行政計画を多く策定している。今後の職員リソースの減少も鑑み、行政計画の見直し・再編を行い、効率的・効果的な行政運営を推進する。					
現状と課題	(現状) - 総合戦略を上位計画とし、その下に各分野の個別計画が位置付けられており、複数の行政計画によって施策を管理する体系となっている。 - これまでの計画行政のもと、様々な行政改革を策定しているが、計画ごとの策定・改定や進捗管理に係る事務負担が発生。 (国調査では地方公共団体が策定主体とされる計画等の策定に関する条項数が10年間で約1.5倍に増加)			(課題) - 庁内全体の行政計画の実態や相互の関連性を把握・検証する仕組みがなく、個別対応による重複や過大な事務・財政負担が発生 - 複数の計画に同一の成果指標を設定しているものが散見され、業務負担の増、非効率な行政運営に直結しかねない。 - 業務の負担増により、計画策定業務を民間委託するケースも多く、財政的な負担となっている。 - 計画の策定・改定そのものが目的化し、その後の実行・検証などの進捗管理が不十分になる可能性がある。		
目標	計画全体を把握・整理し、必要性を検証した上で、廃止・統合・簡素化やAI活用を進める。			期待される効果	計画策定・管理に係る人的・財政的負担の軽減。限られた資源を重点施策等に配分。	
指標別評価	目標に対する評価指標	R8	R9	R10	R11	R12
方針形成	・課題と見直しの方向性が整理されているか					
合意形成	・関係課・関係者・市民等と調整ができているか					
実施体制	・検討・実施に必要な体制が整理されているか					
制度改善	・見直し内容が方針や運用に反映されているか					
(凡例)	◎:完了／○:概ね完了／△:着手中／×:未着手・実施不可					
年度別計画・実施内容						
実施項目 (目標達成に向け何を・何時から何時までに実施するのか) (中・長期的取組)	実施内容	R8	R9	R10	R11	R12
	庁内行政計画の実態調査、見直しの方向性					
	(R10改定分)対象の行政計画の選定・再編等の調整					
	(R11改定分)対象の行政計画の選定・再編等の調整					
	(R12改定分)対象の行政計画の選定・再編等の調整					
	(R13改定分)対象の行政計画の選定・再編等の調整					
R8年度末時点		判定理由 (取組状況の詳細)				
実施項目 取組状況 (中・長期的取組)						
対象年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	
各年度における取組内容	- 庁内行政計画の実態調査の実施 - 調査を踏まえた、廃止、統合・再編、期間見直しなどの方向性案の作成	- 調査を踏まえた、廃止、統合・再編、期間見直しなどの方向性の庁内合意 - 令和10年度改定分の行政改革の選定・再編等に向けた調整	令和11年度改定分の行政改革の選定・再編等に向けた調整	令和12年度改定分の行政改革の選定・再編等に向けた調整	令和13年度改定分の行政改革の選定・再編等に向けた調整	
各年度における実施内容・結果						